

4年ぶり、総合開会式

球春到来、512選手闘志



理事長あいさつ

理事長あいさつ

となりました。また協会選手登録が512名と16名増加になりました。近年減少傾向が続いていた中で喜びひとしおです。来年も多くの選手・来賓・協会役員等が集う開会式を迎えられるよう協会運営をしっかりと進めていきたいと改めて決意しました。

今年、協会の新事業として、金沢市早朝野球部会を立ち上げました。昨今のリーグ・チーム数減少の影響を最小限にとどめ、早朝野球を続ける環境作りを目的としています。今年はパシフィックリーグのハンブラザーズ、城北ユニオンズの皆さんのご理解とご協力の一つの実績と繋がりを作ることができました。早朝野球を取り巻く環境は年々変化しますが、柔軟に対応できるように努めていきたいと思えます。

さて今年の選手権GM大会も決勝戦が同点再試合となる熱戦でした。前述のハンブラザーズ・前川投手が、中一日の疲れをみせずノーヒットノーランを達成、ハンブラザーズに初栄冠が輝きました。二年連続準優勝の兼六シーサーズは、多彩な投手陣を擁し昨年とは一味違うチーム作りで勝ち進んできました。両チームの健闘を心から称えたいと思えます。またハンブラザーズは県大会においても準優勝を勝ち取りました。

決勝戦が象徴するように今年の選手権GM大会も一回戦から熱戦が繰り広げられたと感じ嬉しく思います。リーグ戦・選手権GM大会の充実が早朝野球の大切な要素だと思っております。今後みんなが集う早朝野球を目指して運営に努めて参りますので、引き続きのご協力をお願い申し上げます。



金沢市早朝野球協会 理事長 堀田 武嗣

総合開会式が帰ってきました!

令和5年4月9日、4年ぶりの総合開会式と復刻イベント・開幕試合で幕を開けました。天候にも恵まれ、春の香り漂う中での開会式は、懐かしさと今後への期待とが交わった特別な時間となりました。



題字は徳田元金沢市長



発行者 金沢市早朝野球協会

《スローガン》
育てよう たくましい精神と身体
明るく正しいマナーのさわやか野球
広げよう 健康と友愛の輪



兼六シーサーズ 花房惟興主将が交通安全宣言



御所倶楽部 山下洋平主将が選手宣誓

星稜中8得点で優勝!!

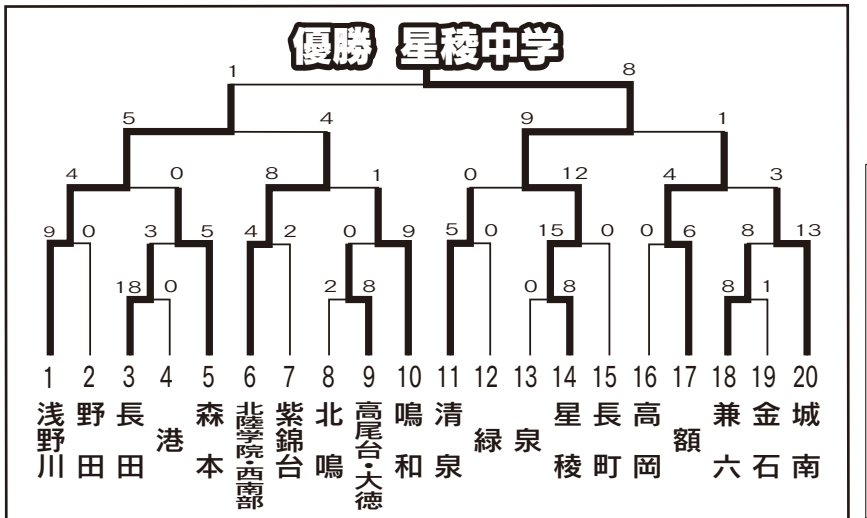


▲優勝の星稜中学
▼準優勝の浅野川中学



準決勝、決勝は8月19日、野々市民野球場で行われ、星稜中が浅野川中を8-1で下し、10回目の優勝を果たした。

星稜は初回、3番折橋の三塁打などで2点を先制し、三回に2点、五回にも4点と小刻みに得点を重ねた。



▽準決勝

北陸院・西園	200200004
浅野川	0113000x5
(北西吉田悠登美・中村浅大竹・岩岸▽三塁打 脇田森北西)	
大竹浅	
額	000101
星稜	1242x9
(額吉田田保田中・西木星竹山・山田利柳橋小畑中村律山岸▽本塁打 柳橋星)▽三塁打 井上中村	

金沢市早朝野球協会会長旗争奪第23回中学校野球大会

第35回金沢・草津早朝野球交歓大会

滋賀県草津市との35回目の交歓大会は11月12日、安原スポーツ広場野球場で行われ、両市の選手が白球を追って交流を深めた。金沢市は各リーグより選出された選抜チームで草津市代表(デビルウィングス)と対戦し、先制・中押しされたもののその後反撃し、最終回あと一歩まで追い上げをはかるも惜しくも4-6で敗れた。優秀選手には蟹屋敷翔大選手(イースタンリーグ)、坂田蓮選手(白山リーグ)が選出された。続く第2試合は降り続く雨のため中止となった。

開会式では、堀田武嗣理事長らが挨拶し、金沢市選抜チームの坂下素直主将(ゴールデンリーグ)が選手宣誓を行った。



健闘を誓い握手



金沢市選抜と草津市代表

早朝野球機関誌 健康と友愛 第81号 発行者:金沢市早朝野球協会 事務局:金沢市中區南136番地(江端) E-mail:souchou89@po4.nsk.ne.jp FAX専用:076-203-0406

令和5年度 金沢市早朝野球協会5リーグ全成績

◎金沢ゴールデンリーグ連盟

本年より明友ビクトリー、シャーロックホームズが旧浅野川リーグより新しく加入しました。

コロナ明けもあり、今年は1回戦総当たりとし実施しました。

明友ビクトリーが全勝で見事優勝、名球会オールドスターズは1歩及ばず準優勝。金沢自衛隊も負けは1つのみと地力を見せ、シャーロックホームズは何とか1勝を掴みました。

木沢クラブ、北陸財務局は勝星が掴めませんでしたでしたが、引分が3つとかなりいい試合を展開したと思います。

リーグ戦終了後に、試合数確保の為トーナメント戦を実施し、こちらは名球会オールドスターズが優勝となりました。

選手権GM大会では上位進出までは行きませんでしたでしたが、来年は是非上位で戦いと思います。

6チームとなり来期も楽しくリーグ戦を開催するべく、リーグ内でルール改正等を行い、早朝野球を色々な意味で変化させたいと思っております。

	チーム名	勝-敗-分
優勝	明友ビクトリー	5-0-0
準優勝	名球会オールドスターズ	3-1-1
3位	金沢自衛隊	2-2-1
4位	シャーロックホームズ	1-2-2
5位	木沢クラブ	0-3-2
6位	北陸財務局	0-3-2
	選手名	成績
最優秀選手	東出 真(明友ビクトリー)	
最優秀投手	笠谷 楓輝(明友ビクトリー)	
最多勝利投手	笠谷 楓輝(明友ビクトリー)	4勝
打撃王	山本 健吾(北陸財務局)	0.5556
本塁打王	宮津 渉(北陸財務局)	1本
	高梨 守慈(シャーロックホームズ)	1本
	西村 和貴(木沢クラブ)	1本
打点王	岩本 直也(明友ビクトリー)	6打点
四死球王	前田 耕作(明友ビクトリー)	6個
盗塁王	笠谷 楓輝(明友ビクトリー)	6個

◎城北ユニオンズ野球連盟

城北リーグは、金沢パシフィック野球連盟からハンブラザーズをお迎えして、御所倶楽部、タイガース、新葵倶楽部の4チームでスタート。今年も熱戦が繰り広げられた。リーグ戦の結果は、以下の通り。

ハンブラザーズ：優勝。選手権GM大会優勝。県早朝野球選手権大会準優勝。打撃力と守備力のバランスが良く、負け無しの5勝1分け。特に、本橋選手は、打率0.700(惜しくも規定打席に届かず)本塁打2本、打点8という驚異的な成績を残した。またエース前川選手は、負けなし4勝27奪三振、防御率1.62 とすばらしい成績を残した。

御所倶楽部：準優勝。エース山下宣浩選手が好投するも、打線が振るわず。接戦をものにできなかった。

タイガース：3位。島崎選手が首位打者を獲得。チーム打率は御所倶楽部を上回った。しかし、勝負どころで痛い失点を喫した。

新葵倶楽部：4位。ベテランが中心のチームで、経験と技術が豊富だった。しかし、体力面で劣り、後半戦に失速した。

早朝野球は、参加者にとって、健康や仲間づくり、競争心の向上など、多くのメリットがあります。来年も、さらに盛り上がることを期待しましょう。

	チーム名	勝-敗-分
優勝	ハンブラザーズ	5-0-1
準優勝	御所倶楽部	3-2-1
3位	タイガース	3-3-0
4位	新葵倶楽部	0-6-0
	選手名	成績
最高殊勲選手	本橋 悟(ハンブラザーズ)	本塁打2,打点8
最優秀投手	前川 翔紀(ハンブラザーズ)	4勝,27奪三振,防御率1.62
最多勝利投手	前川 翔紀(ハンブラザーズ)	4勝
打撃王	島崎 秀樹(タイガース)	0.571
本塁打王	本橋 悟(ハンブラザーズ)	2本
打点王	本橋 悟(ハンブラザーズ)	8打点
四死球王	桜井 史也(御所倶楽部)	4個
	宮窪 大雅(御所倶楽部)	4個
	小林 大剛(ハンブラザーズ)	4個
	松延 卓弥(ハンブラザーズ)	4個
	金城 数馬(ハンブラザーズ)	4個
盗塁王	高畠 拓也(ハンブラザーズ)	3個

2023年度・選手権兼グッドマナー大会

ハンブラザーズ初V



前川投手がノーノー達成!!



優勝のハンブラザーズ

ハンブラザーズ 0002000 | 2
兼六シーサーズ 0000000 | 0

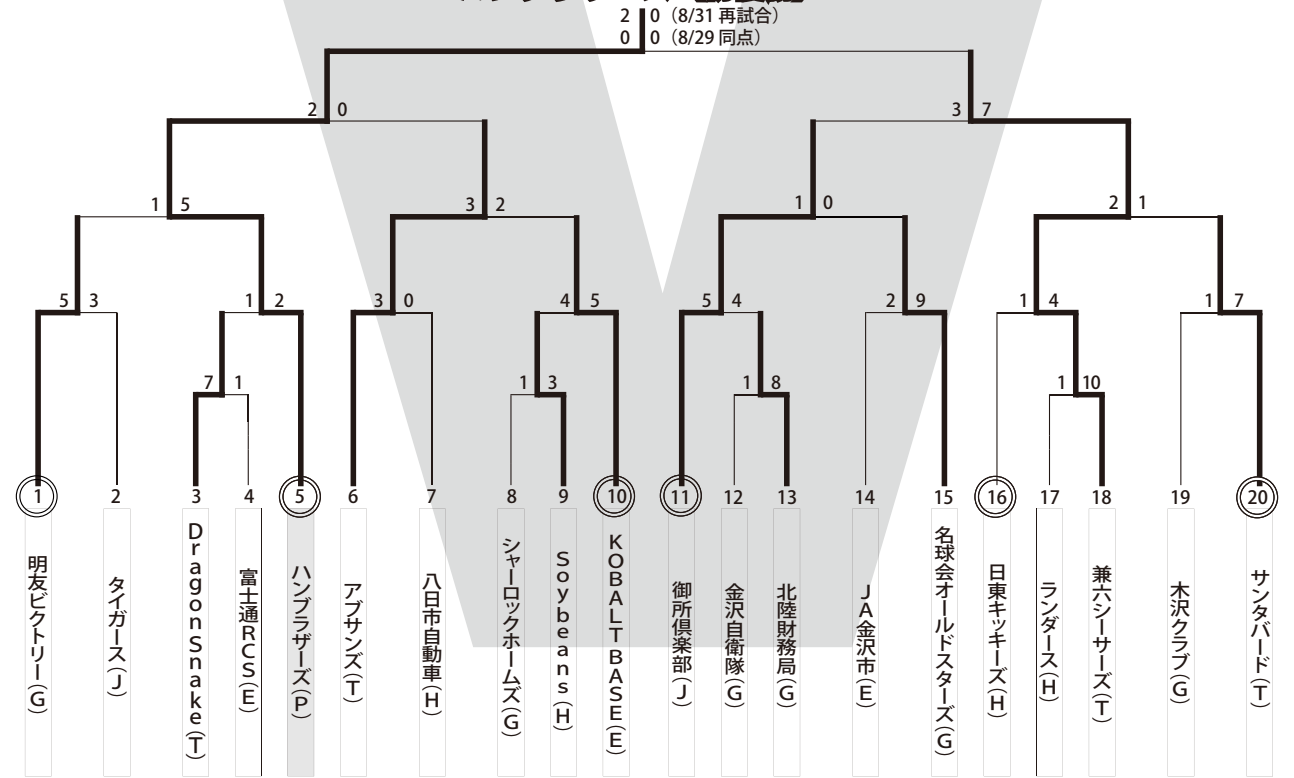
(ハ)前川—高野 (兼)高桑、滝町、前和—前星



2年連続準優勝の兼六シーサーズ

▽決勝戦
29日に引き分けになった決勝再試合が8月31日・金沢市民野球場で行われ、ハンブラザーズ(パシフィッククリーグ)が2-0で兼六シーサーズ(太陽リーグ)を下し、初優勝を果たした。ハンブラザーズの前川翔紀がノーヒットノーランの快投を見せた。兼六シーサーズは五回にエラーと四死球で作った満塁の好機をいかせなかった。

ハンブラザーズ (初優勝)



	チーム名	勝-敗-分
優勝	日東キッキーズ	8-3-0
準優勝	Soybeans	5-2-2
3位	八日市自動車	4-2-0
4位	ランダース	4-2-3
5位	中武ライオンズ	2-5-2
6位	マリアージュ	1-5-3
7位	Y'z	0-5-0
	選手名	成績
最高殊勲選手	高田 大士(日東キッキーズ)	
最優秀投手	堀山 日向(日東キッキーズ)	
最多勝利投手	堀山 日向(日東キッキーズ)	8勝
打撃王	福田 信之(Soybeans)	0.583
本塁打王	畠山 大輝(中武ライオンズ)	2本
打点王	堀山 日向(日東キッキーズ)	17打点
四死球王	岩住 一希(日東キッキーズ)	8個
盗塁王	吉川 悠斗(ランダース)	7個

白山リーグ連盟

今年は7チームでスタート。
 2年目の日東キッキーズは若手主体に切り替え、シーズンを乗り越え初優勝。
 2位にはSoybeans、いよいよ来年は少し若手を入れないと。
 3位は八日市自動車、老体にムチを入れ3位確保。
 4位はランダース、メンバーがなかなか集まらず苦戦。
 5位は中武ライオンズ、メンバー3人を補強し来年が楽しみ。
 6位はマリアージュ、主力メンバーが転勤で上位に上がれず。
 Y'zは途中メンバーが集まらず後半戦は試合できず。
 来年も7チームでシーズンを乗り切りたい。



選手権兼グッドマナー大会開会式・組み合わせ抽選会



サンタバード 木地 睦主将が選手宣誓



決勝戦再試合の熱い戦い



ご協力
 ありがとう
 ございました。



第43回献血推進事業/リーグ別内訳

- 1位 金沢パシフィック野球連盟 31名 (25)
- 2位 金沢ゴールデンリーグ連盟 19名 (15)
- 3位 白山リーグ連盟 19名 (14)
- 4位 太陽リーグ 14名 (12)
- 5位 城北ユニオンズ野球連盟 10名 (9)
- 6位 金沢イースタンリーグ連盟 7名 (6)

献血参加者総数 100名
 (昨年は127名)

* ()内の数字は実際献血できた人の人数です。

[2023 金沢市早朝野球協会の主な活動]

3月25日(土)	総会(ANAホリデイ・イン 金沢スカイ)
4月9日(日)	総合開会式・開幕試合(金沢市民野球場) ※Soybeans 対 富士通RCS
7月23日(日)	献血推進 Day (献血ルームくらつき)
8月2日(水)	選手権兼グッドマナー大会組み合わせ抽選・開会式 (JA金沢市本店)
8月19日(土)	金沢市中学校野球大会決勝戦、閉会式(野々市市民野球場) ※浅野川中 1-8 星稜中
8月29日(火)	選手権兼グッドマナー大会決勝戦(金沢市民野球場) ※ハンブラザーズ 0-0 兼六シーサーズ
8月31日(木)	選手権兼グッドマナー大会決勝戦/再試合(金沢市民野球場) ※ハンブラザーズ 2-0 兼六シーサーズ
9月17日(日)	石川県早朝野球選手権大会準決勝(寺井野球場) ※ハンブラザーズ 10x-9 三十路ドカベン軍団(能美市代表)
10月1日(日)	石川県早朝野球選手権大会決勝戦(石川県立野球場) ※ハンブラザーズ 1-11 高桑美術印刷(野々市市代表)
11月11日(土)	金沢市・草津市 二市早朝野球交歓大会懇親会(テルメ金沢)
11月12日(日)	金沢市・草津市 二市早朝野球交歓大会(安原スポーツ広場野球場) ※第1試合 金沢市選抜 4-6 草津市代表 ※第2試合 雨天中止
11月25日(土)	2023 アワード(ANAホリデイ・イン 金沢スカイ)

LEAGUE'S RECORDS 2023

太陽リーグ

今年は、サンタバードが28年ぶりの3度目のリーグ優勝を勝ち取りました。近年新メンバーもたくさん入り、別のリーグにも参加して試合数を増やすなど、前向きに野球に取り組まれた結果であり、来年度以降も、リーグを力強く引っ張って行ってほしいと思います。

選手権・GM大会では、今年も兼六シーサーズが決勝進出、惜しくも優勝には届きませんでした。毎年トーナメントで強く、目を見張るものがあります。アブサンズには安定した強さがあり、ドラゴンズスネークにも若手選手が増え、リーグ全体で良い内容の試合がととも増えました。

来年度以降も、リーグ戦でより高いレベルの試合を展開し、選手権での全チームの好成績と太陽リーグチームの初優勝を期待しています。

	チーム名	勝-敗-分
優勝	サンタバード	8-1-0
準優勝	アブサンズ	4-2-1
3位	兼六シーサーズ	4-4-1
4位	ドラゴンズスネーク	3-5-0
	選手名	成績
最高殊勲選手	木地 睦(サンタバード)	本塁打王、打点王他
最優秀投手	二木 一飛(サンタバード)	2勝・優勝
最多勝利投手	二木 一飛(サンタバード) 入谷 直登(サンタバード) 笹倉 康弘(アブサンズ) 前 和寿(兼六シーサーズ)	2勝
打撃王	前 和寿(兼六シーサーズ)	0.529
本塁打王	木地 睦(サンタバード)	2本
打点王	木地 睦(サンタバード)	9打点
四死球王	木地 睦(サンタバード)	6個
盗塁王	矢野 敦也(兼六シーサーズ)	7個

金沢イースタンリーグ連盟

今年度も4チームでリーグ戦、太陽リーグさんとの交流戦を行いました。

優勝はKOBALT BASE。投打で圧倒しリーグ戦では負けなし、見事リーグ連覇を達成しました。松原選手がMVPとなりました。2位はコンボイズ。川合投手が最多勝利に輝き、守り勝つ野球が光りました。ベテランと若手の融合でさらなる飛躍を目指します。3位は富士通RCS。協会の開幕試合から最終戦まで堀田投手が一人で投げ抜きました。持ち前の粘り強い野球で来季の上位進出を期待します。4位はJA金沢市。今シーズンは松田選手を中心に若手が躍動しましたが結果は振るわず、来季の巻き返しを狙います。

今シーズンも無事終わることができました。各チーム、審判員、太陽リーグさん、関係者の皆様ありがとうございました。

	チーム名	勝-敗-分
優勝	KOBALT BASE	6-2-0
準優勝	コンボイズ	3-2-0
3位	富士通RCS	2-8-0
4位	JA金沢市	1-7-0
	選手名	成績
最高殊勲選手	松原 豪(KOBALT BASE)	
最優秀投手	川合 範英(コンボイズ)	
最多勝利投手	川合 範英(コンボイズ)	3勝
打撃王	松原 豪(KOBALT BASE)	0.500
本塁打王	田中 隆寛(KOBALT BASE) 松田 貴司(JA金沢市)	2本 2本
打点王	田中 隆寛(KOBALT BASE)	7打点
四死球王	保田 貴志(富士通RCS)	5個
盗塁王	田中 隆寛(KOBALT BASE)	6個